



検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

🍀 137人目



私なりのリスクマネジメント

廿日市の集配コースを担当しています。勤続1年未満でまだまだ分からないことも多く、ささいなミスをたくさんしています。それでも同じ失敗を繰り返さないよう、一度した失敗に対しては自分なりに分析し、対策を立てています。そのおかげで、凡ミスは減ってきています。

集配業務においては、当然交通事故に気をつけるとともに、指定の時間に検体を預かれるよう、気持ちと時間に余裕を持って対処しているつもりです。気の焦りやイライラはミスにつながると考えるからです。

私には、患者さん一人一人の検査に決して間違いはあってはならないという思いがあります。命にかかわることもあれば、再採血をして患者さんに負担をかけることもあるからです。特に高齢者や幼児の採血は困難とよく聞きます。

これからも適度な緊張感を持ち、間違いのないよう細心の注意を払って業務に専念したいと思います。

❤️ 138人目



研修で見つけた臨床検査の面白味

昨年4月に検査センターに入所しました。約10か月の研修を終え、今年の1月から血液一般部門に配属されました。研修期間は各検査室を勉強させてもらい、それぞれの大変さがよくわかりました。

入所当初は、どちらかという血液検査にはあまり興味がありませんでした。しかし実際に研修を進めていくうちにわかったこともあったのです。単に機械（検査機器）が出す数字を見るだけではなく、生化学のデータと合わせながらその人がどんな病気かを探っていくということがわかり、臨床にもつながる面白い検査だなと感じるようになりました。

まだ、配属されて2か月ほどですが、今はとてもやりがいを感じています。データやスライドをただ見るだけではなく、何が疑われるかを常に考え、日々勉強し、これからも頑張っていきたいと思っています。